手回り品

■持ち込めない荷物

▼ 危険品、刃物（※）、暖炉・コンロ、動物（*）、死体、不潔なもの、臭気を発するもの、他のお客さまに危害を及ぼすおそれのあるもの、車内を破損するおそれのあるものなどは車内への持ち込みはできません。

※ 他のお客さまに危害を及ぼすおそれがないように梱包された刃物は除きます。なお、対象とする刃物及びその梱包方法は、「刃物を鉄道車内に持ち込む際の梱包方法についてのガイドライン」（平成30年12月国土交通省鉄道局）によります。詳しくは、国土交通省ホームページをご参照ください。

＊ 少量の小鳥、小虫類、初生ひな、魚介類でケースに入れたものは除きます。

■危険品について

▼ 危険品とは、爆発性の物、発火性の物、引火性の物、酸化性の物、放射性の物、可燃性のガス、その他危険物（毒物・劇物、農薬等）を指します。

▼ 危険品は、量や保管方法にかかわらず車内への持ち込みはできませんが、一部の危険品については、日常の用途に使用する小売店などで通常購入可能な製品であって、不注意等により内容物が漏れ出ることがないよう適切な保管対応が行われたものに限り、重量、数量等を限定して車内に持ち込むことができます（ただし、ガソリン、灯油、軽油などの可燃性液体そのものは、量や保管方法にかかわらず、車内への持ち込みはできません。）

※例えば、可燃性液体、高圧ガスを含む製品であって、小売店などで通常購入可能なものは、２リットル以内または容器を含む重さが２キロ以内である場合に限りお持ち込みいただけます。

※その他にも、持ち込みにあたり状態や量、重さに制限がある場合があります。
詳細はホームページの旅客営業規則等をご確認ください。

■持ち込める荷物

▼ 携帯できる荷物で、タテ・ヨコ・高さの合計が250センチ（長さは２メートルまで）以内で、重さが30キロ以内のものを２個まで持ち込むことができます（ただし、傘、つえ、ハンドバッグなどの身の回り品は個数に数えません）。

＜無料のもの＞

▼ 旅行鞄、スーツケース、スポーツ用品（サーフボードは専用の袋に収納したもの）、楽器、娯楽用品、玩具、その他携帯できる荷物

＊スポーツ用品、楽器、娯楽用品などは、長さの制限を超える場合であっても、車内で立てて携帯できるものは持ち込むことができます（専用の袋、ケースなどに収納するようにしてください）。

▼ サイクリングやスポーツ大会などに使用する自転車は、解体し専用の袋に収納したものまたは、折りたたみ式自転車においては折りたたんで専用の袋に収納したもの

▼ 身体障害者補助犬法に定める盲導犬、介助犬、聴導犬を使用者本人が随伴する場合。ただし、法に定める表示等を行っている場合に限ります。

▼ 車イスで、長さ・高さが120センチ以内で、幅が70センチ以内のもの

＜有料のもの＞

▼ 小犬、猫、鳩またはこれらに類する小動物（猛獣やへびの類を除く）で、
●タテ・ヨコ・高さの合計が120センチ以内の動物専用のケースにいれたもの
●ケースと動物を合わせた重さが10キロ以内のもの

▼ 手回り品料金は、1個につき290円です。ご乗車になる駅の改札口などで荷物をお見せのうえ、普通手回り品きっぷをお求めください。

■東海道・山陽・九州新幹線および西九州新幹線の手回り品について

▼ タテ・ヨコ・高さの合計が160センチ超250センチ以内の荷物（特大荷物）を車内に持ち込む場合は、特大荷物専用のお席のご予約が必要となります。
詳しくはJR各社のホームページをご確認ください。

JR東海　https://jr-central.co.jp/

JR西日本　https://www.westjr.co.jp/

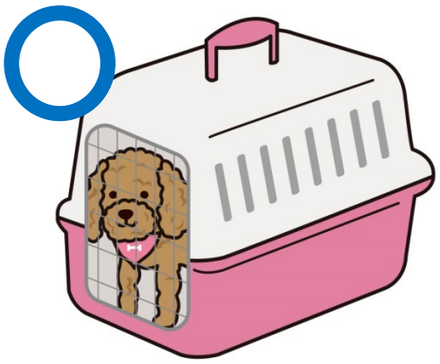
JR九州　https://www.jrkyushu.co.jp/

■お願い

- ▼ 手回り品の持込みや保管は、お客さまご自身でお願いいたします。
- ▼ 小動物（ペット等）を持ち込まれる場合は、駅や車内ではケースから出さないようお願いいたします。
- ▼ 特に大きな荷物などを持ち込まれる場合は、時間帯によっては他のお客さまのご迷惑となることがありますので、細心のご注意をもってお取扱われるよう、ご協力をお願いいたします。
- ▼ 安全のため、車内の網だなには重量のある荷物や不安定な形状の荷物はお載せにならないようお願いいたします。
- ▼ 他のお客さまにご迷惑をおかけするおそれがある場合や列車が大変混雑している場合などは、持込みをお断りする場合があります。

ペットを連れて駅・列車をご利用のお客様へ

動物が苦手なお客様やアレルギーをお持ちのお客様も
気持ちよくご利用いただけるよう、
以下の点をお守りください。



▼ ペットは全身が入るケースに入れてください。

抱いたままや、リュックサック・バッグなどに
入れた状態ではご利用になれません。

ドッグスリングでは全身が入っていても
ご利用になれません。

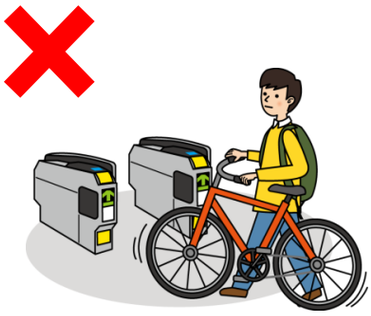
ペットカート（ペットバギー）は、カートも含めた寸法が
ペットを有料手回り品としてお持ち込みいただける制限を
超えるためご利用になれません（ケースとカートを分離
する場合を除きます）。

法令に定める盲導犬、介助犬、聴導犬を使用者本人が随伴する場合は除きます。
ただし、法令に定める表示等を行っている場合に限ります。

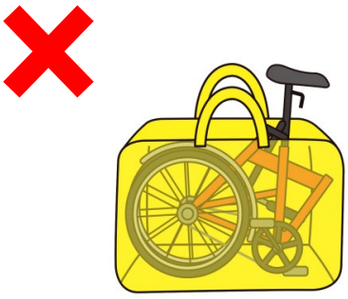
自転車やスキーなどを駅・列車に持ち込む際は

お客様ご自身や、他のお客様に対する思わぬケガ等を防ぐため、
以下の点をお守りください。

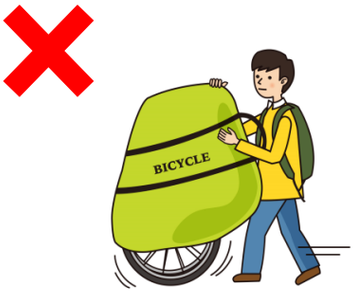
- サイクリングやスポーツ大会などに使用する自転車は解体して専用の袋に収納してください。
- 折りたたみ式自転車の場合は、折りたたんで専用の袋に収納してください。



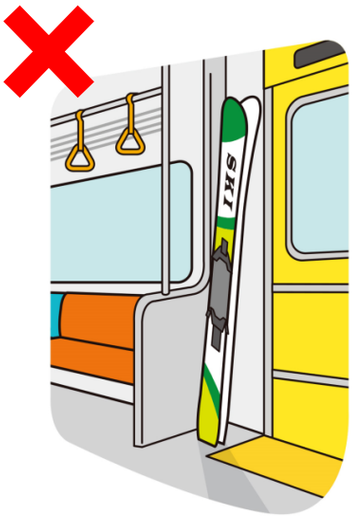
自転車を専用の袋に入れずに持ち込むことはできません。



サドルやハンドルなどが露出したまま持ち込むことはできません。



タイヤが露出した状態で、転がしながら持ち込むことはできません。



スキーやスノーボードは、そのまま持ち込むと鋭利な部品等で思わぬケガにつながる危険があります。
専用の袋に収納するなど、駅や車内での事故防止にご協力をお願いします。